未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマＡ：メディカル・イノベーション推進人材の養成]

整理番号	Ａ－７

申請担当大学名（連携大学名）	鳥取大学
事業名	革新的未来医療創造人材の養成 ～鳥大発独自教育プログラム「発明楽」の実践～
事業責任者	医学部附属病院長　北野　博也

事業の概要

本事業では、発明楽による発案を促し、産官学が強固に連携して出口戦略を描き、新しい市場を創造する実践力を養う。具体的には、大学院医学系研究科に「革新的未来医療創造コース」を新設する。本コースでは、鳥取大学が考案した発明楽授業をさらに発展させ、企業の技術者や弁理士、ＰＭＤＡ薬事専門家等を講師として招き、発案から製品化までに必要な知識を身につける。また、学んだ知識をもとに、革新的医療創造実践として、鳥取大学が企業と連携して行っている世界最先端の医療・介護ロボット開発等の事業について、大学院生が企業開発現場で研修を行う。また、支援組織として次世代高度医療推進センター内に「産業化臨床研究部門」を設置する。本部門には臨床研究や機器開発に精通し国際的な対応が可能な人材を配置し、関連組織や企業、海外との調整等を行う。さらに、男女ともに医師としてのキャリア形成とその継続が可能なシステムの構築を行う。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：改善を要する点等

○企業との連携による実践教育、臨床研究の実践教育を受ける点は優れている。
○具体的な民間企業との連携を視野に入れ、実用化、産業化を目指した教育、発明マインドを持った人材育成に重点が置かれている。民間企業の製品開発プロジェクトに関与することができるのは効果的と思われる。
○全学的な発明楽の授業および産業化を意識した実践教育は、本事業の目指すところであり、効果が期待できる。
○キャリア形成支援プランは少子化が意識されており、女性医師支援策が優れている。
●「革新的未来医療創造コース」について、出口戦略の講義等を充実させたらなお良いと思う。
●平成２７年度から始まる大学院生対象のコースが主体となると思われるが、学部生教育も含めて、骨子である「発明楽」の考えが広く教授されるよう、更なる検討が必要ではないか。
●発明楽の授業の全学的な取組があるものの、その後の医師以外の人材育成プランが乏しいため、その方策が示されることが望ましい。
●「革新的医療創造教育用設備」は研究用機材の整備のようだが、具体的にどのような内容の演習が行われ、直接人材養成にかかわるのかが不明。